

過般來皆様の御手許へ趣意書及目論見書を差上げて置きました。我が印刷工株式會社は労働運動の一方方法として我等の最高理想である労働自治の階段に履み入るべき。否、否、否、否、堂に入るべき試練であつて、此の企劃の成不成は直接間接に諸君の利害休戚に關するのでありますから、此の點は良く御諒解を願ひたい。苟くも労働運動に參し、現代の社會組織に不満を感じて、自己境遇の向上を希ふ諸君であるから御不賛成はなからうご存じます。

又一面に於ては株主中に不幸にして失業者があつてお困りの場合は救済基金から給與されますから平素精神上の慰藉として相當の價値あるものご信じます。若し諸君にして株主ならず組合員ならずして一朝不幸事に遭遇した時は孤立、何れの島に取り付く術もなく益々悲境に沈淪せねばなりません。株主たるご然らざるご此間に於て將來非常な懸隔を生ずるかも知れませんから後日の悔ひなきやう篤ご御考へを願ひたいのです。諸君にして赤誠あらば平生の嗜好である酒、煙草を節したならば二、三ヶ月にして一株を持ち得るでありませう、或は芝居、活動寫眞の好きな人は看板だけ見て四、五ヶ月間辛抱するならば株主たる事は出来るのであります。願くは諸君、奮つて御賛同御申込あらん事を希望致します。

而して豫約募集簿を廻して置きましたから、堪へ得る限り應募せられん事を願ひします。

大正十年九月

神戸印刷工株式會社

創立委員

10930
19/
各位